



第50期 第2四半期 決算説明会

本資料に記載した意見や予測は、作成日現在における弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではありません。
今後様々な要因によって、実際の業績や結果と異なる可能性があります。



*Financial Results Presentation
for the Second Quarter of 50th term*

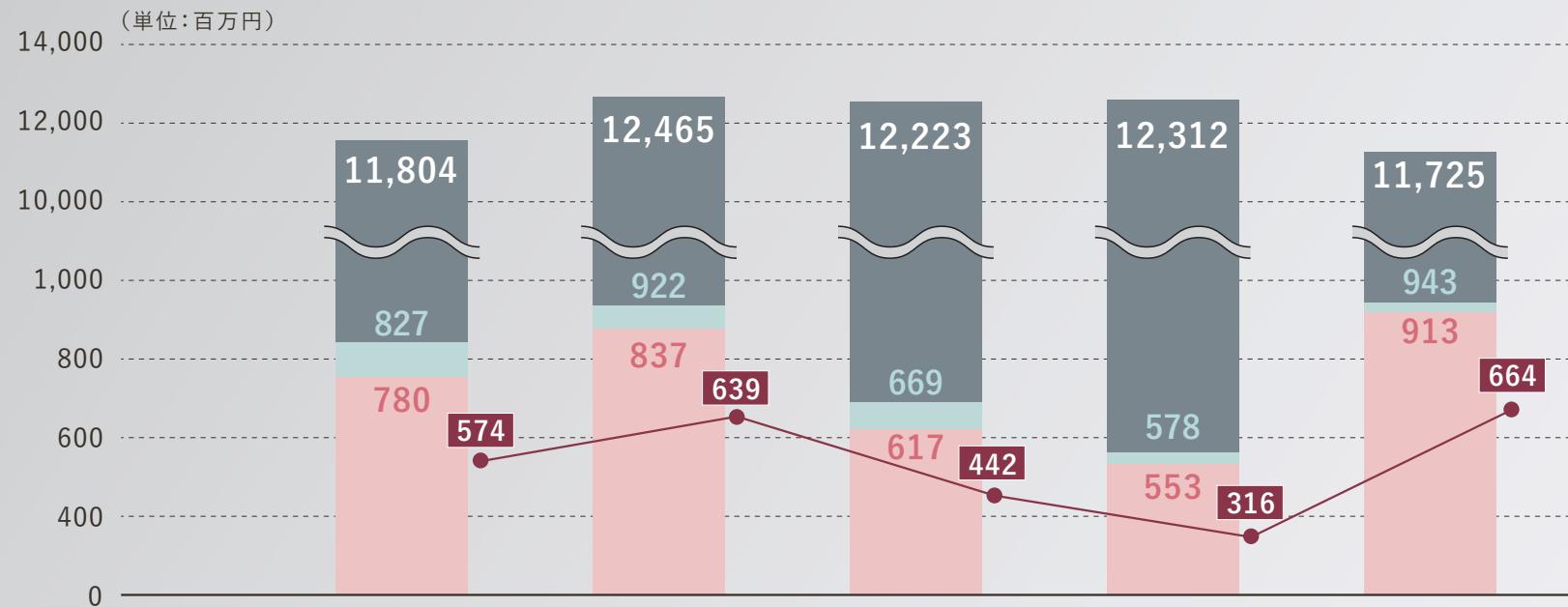
第2四半期連結業績ハイライト

- 年賀状印刷の受注は前年並みであった一方、新型コロナウイルスの影響により商業印刷物が減少
- 作業工程の見直しや自動化による大幅な業務の削減等により増益

	第49期 第2四半期	第50期 第2四半期	増 減	増減率
売上高	12,312	11,725	△586	△4.8%
営業利益	553	913	360	65.0%
経常利益	578	943	364	63.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	316	664	348	110.0%

第2四半期連結業績ハイライト

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ● 親会社株主に帰属する当期純利益



	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期	(単位:百万円)
売上高	11,804	12,465	12,223	12,312	11,725	
営業利益	780	837	617	553	913	
経常利益	827	922	669	578	943	
親会社株主に 帰属する当期純利益	574	639	442	316	664	

TOPIX ①

地域BWA^(※1)基地局網を活用した消費者向けWi-Fiサービスの開始

当社は、令和元年9月以降、地域BWA(Broadband Wireless Access:地域広域帯移動無線アクセス)システムの基地局整備を進めて参りましたが、消費者向け通信サービスの準備が整ったことから、令和2年11月下旬より札幌市内の一帯でWi-Fiサービスの提供を開始いたしました。サービスは、西区・中央区・北区の一部からの提供となりましたが、今後基地局数を増やすことで対象エリアを拡大し、令和6年には1万回線の契約獲得を目指します。



ふりっぱーNET

※1. 地域BWAとは、2.5GHz帯の周波数の電波を使用し、地域の公共サービスの向上やデジタル・ディバイド(条件不利地域)の解消等、地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的とした電気通信業務用の無線システムです。

TOPIX ②

新白石工場の本格稼働

令和2年6月に完成した新白石工場が、同年10月より本格稼働いたしました。当工場は、平成12年12月より年賀状印刷工場

として、北海道から沖縄まで全国の流通店舗などからご注文をいただいた年賀状印刷を承っております。この度、老朽化に伴い建て替えられた新工場は、個人情報保護のためのセキュリティの強化、および最新設備の導入による生産性向上を図ったほか、コールセンターやBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)業務の体制も整え、様々なニーズに対応できる体制を構築しております。



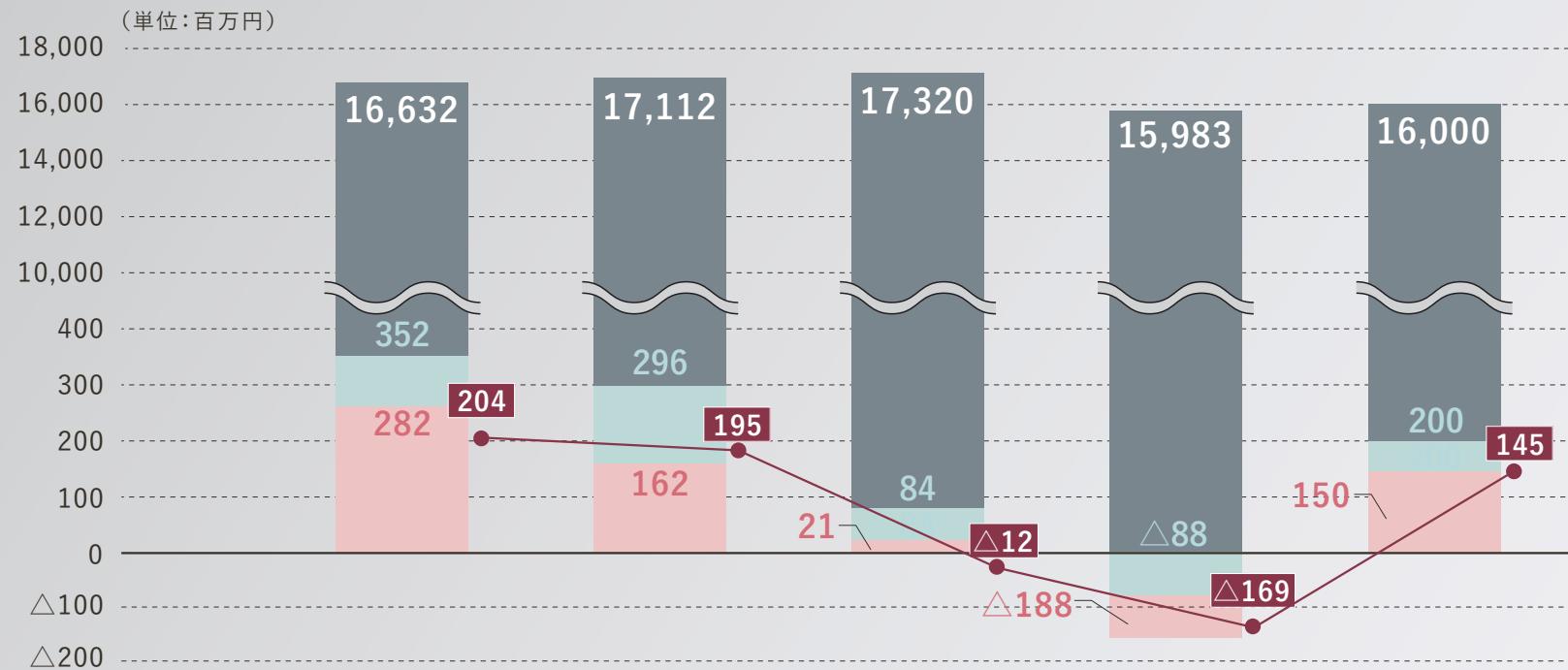
TOPIX ③

コロナ禍における通販事業の強化

新型コロナウイルス感染症の影響で、当社においても顧客企業の各種イベントの中止、チラシや各種広告の自粛等により商業印刷事業に大きな影響が出る中、コロナ禍において需要の増す通信販売事業の一層の強化を図りました。ふりっぱーやJP01といった自社の媒体により北海道各地の魅力ある特産物の販売を継続して行ったほか、顧客企業のECサイトの制作から運営までを一括して担うなど、自社の総合的なソリューション事業を推進しました。新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン開催となったさっぽろオータムフェスト2020では、インターネット通信販売の代行事業を受託いたしました。

第50期の見通し 連結業績予想

■ 売上高 ■ 営業利益または
営業損失(△) ■ 経常利益または
経常損失(△) ● 親会社株主に帰属する当期純利益又は
親会社株主に帰属する当期純損失(△)



	第46期 (実績)	第47期 (実績)	第48期 (実績)	第49期 (実績)	第50期 (予想)	(単位:百万円)
売上高	16,632	17,112	17,320	15,983	16,000	
営業利益又は 営業損失(△)	282	162	21	△188	150	
経常利益又は 経常損失(△)	352	296	84	△88	200	
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	204	195	△12	△169	145	

參 考 資 料

【参考資料】

四半期連結損益計算書(第2四半期)

	第48期 第2四半期	第49期 第2四半期	第50期 第2四半期	(単位:百万円)
			対前期増減	
売上高	12,223	12,312	11,725	△586
営業利益	617	553	913	360
経常利益	669	578	943	364
親会社株主に 帰属する当期純利益	442	316	664	348

【参考資料】

四半期連結貸借対照表(第2四半期)

(単位:百万円)

	第49期	第50期 第2四半期	増減
現金及び預金	1,602	4,341	2,738
その他	2,207	3,586	1,378
流動資産合計	3,810	7,927	4,116
有形固定資産	4,173	4,023	△149
その他	1,564	1,632	67
固定資産合計	5,737	5,656	△81
繰延資産合計	2	1	0
資産合計	9,550	13,585	4,034

	第49期	第50期 第2四半期	増減
流動負債	4,155	7,494	3,339
固定負債	3,305	3,309	3
負債合計	7,460	10,803	3,342
資本金	411	411	—
利益剰余金	982	1,617	634
その他	695	752	56
純資産合計	2,089	2,781	691
負債純資産合計	9,550	13,585	4,034

【参考資料】

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(第2四半期)

	第49期 第2四半期	第50期 第2四半期	(単位:百万円)
			増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,172	1,876	704
投資活動によるキャッシュ・フロー	△563	△116	447
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,029	978	△50
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	1,637	2,738	1,101
現金及び現金同等物の期首残高	1,232	1,602	370
現金及び現金同等物の期末残高	2,869	4,341	1,471